

# ICRtoP

INTERNATIONAL COALITION FOR THE RESPONSIBILITY TO PROTECT

『保護する責任』実現を求める国際 NGO 連合



『保護する責任』——大規模な人道的危機を抑制するように働きかけ、未然に防ぐことを求める新たな国際規範

(撮影: 国連写真部 Eskinder Debeb)

『保護する責任』実現を求める国際 NGO 連合とは、『保護する責任』(RtoP もしくは R2P と略称される)の実現を国際的、地域的、また国家的レベルで推し進めていくために設立された、NGO(非政府組織)の世界的なネットワークです。このネットワークは、8 つの地域と国際的 NGO の代表者たちによって2009年1月に発足しました。

## なぜ『保護する責任』が必要か

国際社会は大規模な人道的危機(大量殺害、戦争犯罪、人道に対する罪、民族浄化)に際して、これを抑制し、防ぐことに、何度も失敗を重ねてきた。これには、ユダヤ人大虐殺(ホロコースト)、アルメニア・ボスニア・ルワンダの大虐殺、カンボジア・コソボ・東チモール・ダルフルの人道に対する罪が含まれている。これらの失敗と、それに伴った途方もない苦痛、何百万という失われた命が、「二度と繰り返させない(never again)」と呼びかけるきっかけとなった。ダルフル、コンゴ民主共和国、ミャンマーの状況に介入した例は、大規模な人道的危機に国際社会が連携して立ち向かう、新たな責任の必要性を考える機運を高めた。

## 『保護する責任』とは、大規模な人道的危機を予防し、食い止める責任

2005 年の国連世界サミットにおいて、世界の指導者らは、人類史上最も許し難い人道犯罪に対して適切に対応してこなかった事実を認め、大量殺害や戦争犯罪、民族浄化、人道に対する罪から人民を守る責任を遂行する決意を固めた。『保護する責任』と名づけられたこの責任は、以下のように明文化された。

1. 国家は大規模な人道的危機から人民を保護する第一義的な責任を負う
2. 国際社会は国家がこの責任を遂行するに当たり協力する責任を負う
3. 国際社会は、これら犯罪から人民を守るために、人道的で平和的な外交手段を用いなければならない。仮に国家が住民を保護できない場合、もしくは国家自身が犯罪行為の主体である場合、国際社会は国連安全保障理事会を通じた集団安全保障措置としての武力行使を含む、より強力な措置を講じなければならない



INTERNATIONAL COALITION FOR THE RESPONSIBILITY TO PROTECT

『保護する責任』実現を求める国際 NGO 連合

### 『保護する責任』により、みだりな軍事介入からも守られる

『保護する責任(以下、RtoP)』では、軍事的、もしくは人道的介入の誤用、濫用を防ぐために次の三点に注意する。

1. RtoP が人道的犯罪を防ぎこれに対応する広範な仕組みであることを理解しつつ、軍事介入は当該主権国家が人民を保護できていないことが明白である場合、並びに平和的手段による介入では不十分であることが証明された場合に限り認められる。
2. RtoP による介入は、4つの大規模な残虐行為に限定して行われる。
3. RtoP は、2005 年の合意にあるように、国連安保理の決定に基づく集団安全保障措置である場合にのみ、武力行使を正当と認める。世界の国々や市民団体が軍事力の濫用を懸念するのは当然の理屈であるが、過去の経験からわかるのは、最も危険なのは、残虐行為を止めるために他の国々が不適切な介入をすることではなく、一向に行動しないことなのである。

### 『保護する責任』は世界のあらゆる地域で支持されている

大量殺害、戦争犯罪、人道に対する罪が発生している状況において、他の国々が連帯して介入する必要性は、2000 年にはじめてアフリカ連合(AU)の設立文書(the AU Constitutive Act)に定められた。RtoP の理念は、2005 年 9 月に国連で採択される以前に、アフリカ連合によって受け入れられたのである。2005 年の世界サミットでは、RtoP は、ラテンアメリカ、アジア、アフリカ等の欠かすことのできない国々から重要な支持を得た。最近では、2009 年 7 月の国連総会で RtoP について討議され、あらゆる国々が、国際的、地域的、国家レベルでこれを推進するよう呼びかけ、支援する旨の声明を発出した。

### 今こそ、「保護する責任」に基づく決意から行動へ

国家が RtoP を受け入れ、国際人道上の 4 つの犯罪から住民を守る責任を確認することは、最初の大事なステップである。だが、国家は今こそ、決意を行動に変えなければならない。2009 年に成功裏に行われた国連総会での討論に引き続き、私達は以下のことを実行するよう世界の国々に求めた。

1. 国連システム内外で早期警戒を促進するように働きかけること。
2. 大規模な人道的危機から人民を守るための国家としての行動計画を策定すること。
3. 大規模な人道的危機を未然に防ぐため多国間・地域間での協力関係を強めること。
4. 仲介努力を含む、地域機構の能力並びに常設型もしくは待機型の即応メカニズムを充実させ、保護する責任の遂行能力を向上させるよう支援すること。
5. 重大な犯罪や違法事態の発生に備え適時かつ適切な行動をとるよう働きかけること。

# ICRtoP

INTERNATIONAL COALITION FOR THE RESPONSIBILITY TO PROTECT



## 『保護する責任』実現を求め る国際 NGO 連合(ICRtoP)

大規模な人道的危機を抑制  
するように働きかけ未然に防  
ぐために世界規模で活動する  
新しい NGO のネットワーク

(撮影:国連写真部 Tim McKulka)

### ICRtoP とは

『保護する責任』(RtoP もしくは R2P と略称される)の実現を国際的、地域的、また国家的レベルで推し進めていくために設立された、NGO(非政府組織)の世界的なネットワークです。このネットワークは、8つの地域と国際的 NGO の代表者たちによって2009年1月に発足しました。

### ICRtoP の目的とは

ICRtoP は、次の5つの目標を達成するために活動します。

1. RtoP の考え方を、各国政府、NGO、一般市民に周知させるよう働きかける。
2. RtoP への、国際的、地域的・準地域的、そして国家的な賛同を得るよう働きかける。
3. 国連・地域・準地域機関や各国政府に対し、大量虐殺や戦争犯罪、民族浄化、人道に対する罪を抑制及び予防する力をつけることを奨励する。
4. 各国政府が RtoP への国際的支援を構築し、これを強化できるようサポートする。
5. 国家固有の RtoP 事態において、人命を救う行動を起こすべく各国 NGO を動員する。

### 会員・指導部について

ICRtoP は、世界のあらゆる地域、団体から地球的規模で RtoP を推進するために尽力してくれる同志を募集中しています。NGO 連合は、以下の設立メンバーによって組織された運営委員会によって指揮されています。

- ・ **WACSI**(West Africa Civil Society Institute:西アフリカ市民社会研究会)
- ・ **IRRI**(International Refugees Rights Initiative:国際難民の権利イニシアチブ)
- ・ **EALS**(East Africa Law Society:東アフリカ法律協会)
- ・ **CRIES**(Coordinadora Regional de Investigaciones Economicas y Sociales:経済社会研究地域コーディネーター)



INTERNATIONAL COALITION FOR **THE RESPONSIBILITY TO PROTECT**

『保護する責任』実現を求める国際 NGO 連合

- ・ **IID** (Initiatives for International Development: 国際開発のためのイニシアチブ)
- ・ **Oxfam International** (オックスファム)
- ・ **HRW** (Human Rights Watch: ヒューマン・ライツ・ウォッチ)
- ・ **WFM-IGP** (World Federalist Movement-Institute for Global Policy: 世界連邦運動地球規模政策研究所)

ICRtoPの事務局は、WFM-IGPのニューヨーク本部に設置されています。事務局は、メンバーによる活動やプログラムを支援します。ICRtoPに参加しているメンバーの最新リストと活動状況を確認するには、[www.responsibilitytoprotect.org](http://www.responsibilitytoprotect.org) のサイトをご覧ください。

### 連絡先

International Coalition for the Responsibility to Protect\*

708 Third Avenue, 24th Floor, New York, NY 10017

Tel: 212.599.1320 Fax: 212.599.1332

Email: [info@responsibilitytoprotect.org](mailto:info@responsibilitytoprotect.org)

URL: [www.responsibilitytoprotect.org](http://www.responsibilitytoprotect.org)

\*ICRtoP は、オーストラリア、スウェーデン、英国等の各国政府、及びジョン・D & キャサリン・マッカーサー財団、オーク財団、アーセノール・ファミリー財団からの寛大な援助、並びに個人からの寄付によって運営されています。

### ICRtoP の公式サイト

RtoP について、世界でもっとも詳細な情報が掲載されています。

- ・国連等における、RtoP の背景や基礎を学ぶための教材的資料
- ・国連システム、地域的・準地域的、または国家レベルにおける進展情報
- ・市民グループからの報告や活動状況
- ・国別の RtoP 事態に関する情報と分析
- ・RtoP に関する出版物情報
- ・RtoP に関するイベント情報



# ICRtoP

INTERNATIONAL COALITION FOR **THE RESPONSIBILITY TO PROTECT**

『保護する責任』実現を求める国際 NGO 連合

## 参加してください！

RtoP の進展、ニュース、イベント、そのほか世界中で起こっている活動の情報を得るために、メーリングリストに参加してください！

[www.responsibilitytoprotect.org/lists/?p=subscribe&id=1](http://www.responsibilitytoprotect.org/lists/?p=subscribe&id=1)

## NGO の皆さまへ

NGO 連合への参加方法については、こちらをご覧ください。

[www.responsibilitytoprotect.org/join-the-coalition](http://www.responsibilitytoprotect.org/join-the-coalition)



制作：世界連邦運動協会

翻訳：稲田真理子

監修：勝見貴弘



世界連邦運動協会

WORLD FEDERALIST MOVEMENT OF JAPAN